

学校再編についての保護者との意見交換の概要

期 日	平成 24 年 9 月 3 日 (月)	時 間	19 : 00 から 20 : 43 まで
場 所	大東中学校 コンピュータ室		
出席者 (学校関係者を含む。)	48 名		
事 務 局	教育委員 (教育長を含む。) 4 名 学校政策課長、生涯学習課長、学校政策課長補佐、学校政策課指導主事、教育総務係長、施設係長		
No.	質 問	回 答	
1	なぜ、学校再編は今なのか。	これまで学校再編は引き続き検討してきており、串間市の学校の将来を考える会、串間市小中学校規模適正化審議会において協議しており、学校再編を進めるように答申があった。	
2	学校再編のスケジュールは。	今後さまざまな手続きを経ていかなければならず、最短でも 3 年はかかるのではないかと考える。	
3	市の経済状況で統廃合があるのか。	財政的な事情で学校再編を進めるという発想ではない。あくまでも子どもの環境を整えていくということである。	
4	子どもが現在の串間で育っていけるようなシステムを作ってほしい。	大きな串間市全体の課題である。ただ、そのことは大事なことであり、行政だけでなく、市民みんなで考えていくときになっているのではないかと思う。	
5	審議会の答申にある、策定途中あるいは策定後に保護者、地域住民への説明を行うことと書かれているが、策定途中の説明会をしていただきたい。	今後、本年度中に方向性を決定し、基本計画・実施計画の素案ができたなら、説明会を開催する予定である。	
6	小学校、中学校それぞれで説明をしてほしい。	そういう考えはもっていない。	
7	部活動をしている生徒を考えたスクールバスの運用なのか。	まだ決定していないが、基本的には登校時に 1 便、下校時は部活動している生徒を考慮して 2 便を想定している。	
8	施設の耐震化や地震、津波の対応はどうなっているのか。また、統廃合をした場合に国や県から補助制度はあるのか。	串間市の小中学校は、平成 24 年度金谷小学校の耐震工事を行っているが、校舎の耐震はクリアしている。津波に備えて金谷小学校の屋上への非常階段を設置している。	

		スクールバスの導入の際には補助制度がある。
9	統廃合になると大東地区から子どもがいなくなると考えるが。	小中高一貫教育を進めており、小学校1年生から高校3年生まで串間で育っていける環境を一体となって取り組んできている。小中高連携して取り組んできている。